

4. 草津市総合交通戦略

4.1 総合交通戦略の趣旨

3章の草津市都市交通マスタープランで示した草津市が目指すべき交通まちづくりの基本理念、基本方針を達成するため、迅速かつ重点的に取り組む戦略施策についての計画を策定していく必要がある。ここでは、交通まちづくりの基本理念、基本方針に加え、今後の交通まちづくりの道筋となる計画目標を掲げ、戦略施策の計画を整理する。

なお、都市交通施策については、都市構造や市民意識、社会情勢の変化に対応し、地域や関係機関と連携を図りながら、効果的かつ効率的に進めていくことが求められる。そのため、草津市総合交通戦略では、各施策の関係者ならびに目標やスケジュールを明確にした上で、計画（PLAN）、実施（DO）、確認・検証（CHECK）、見直し・改善（ACTION）を行う一連のシステムを構築する。

交通まちづくりの基本理念：

「誰もがいつでも安心して移動できる
持続可能な交通まちづくりの実現」

交通まちづくりの基本方針：

「人にやさしい交通まちづくりの実現」
「環境にやさしい交通まちづくりの実現」
「地域を維持・活性化する交通まちづくりの実現」

4.2 総合交通戦略の位置付け

草津市総合交通戦略については、第5次草津市総合計画、草津市都市計画マスタープランなどの上位計画で定められた基本方針に基づき、草津市が目指すべき交通まちづくりの目標、基本理念、基本方針を定めた草津市都市交通マスタープランの戦略的な計画となるもので、平成32年度を目標とした重点的かつ迅速な施策展開を図るものとなる。

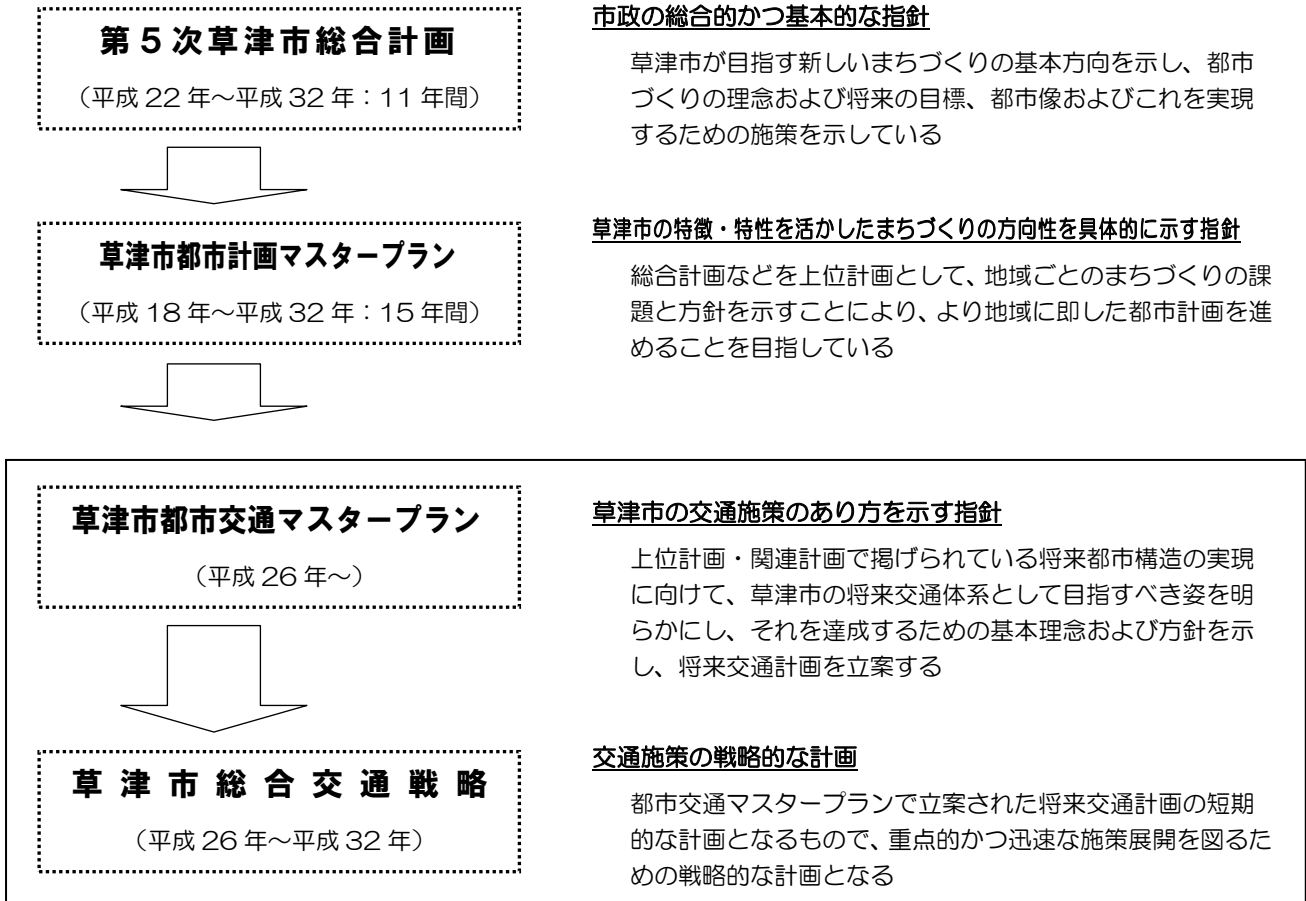


図 総合交通戦略の位置付け

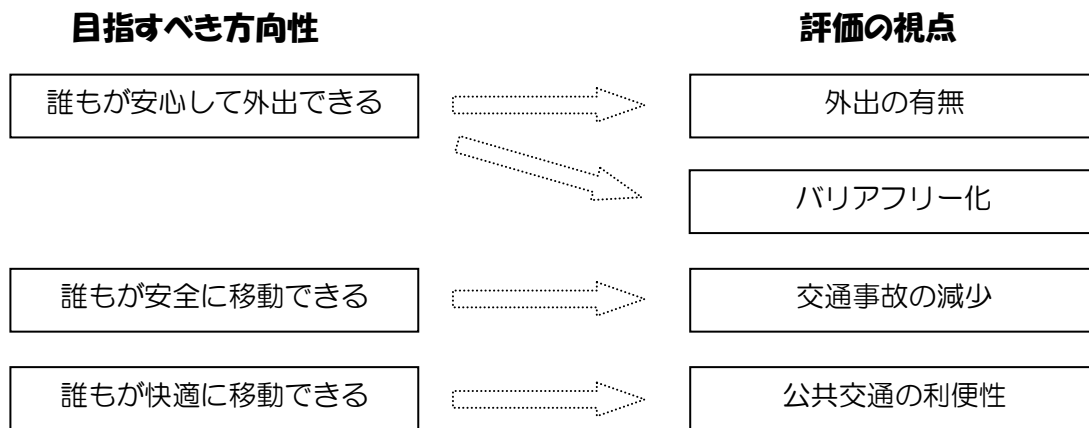
4.3 計画目標の設定

草津市総合交通戦略については、目標設定した平成 32 年時点での達成を目指し、草津市都市交通マスタープランで定めた施策の具体化（戦略的な計画の策定）を図る。

また、計画目標としては、これらの施策の展開が及ぼす影響が、都市そのもの、あるいはまちづくり全体に寄与するため、事業実施により直接得られる結果であるアウトプット指標ではなく、事業の実施により発生する成果であるアウトカム指標を中心に位置付ける。

① 人にやさしい交通まちづくりの実現

交通まちづくりの基本方針の一つである「人にやさしい交通まちづくり」の実現に向けては、誰もが安心して外出でき、安全かつ快適に移動できることが重要であることから、以下のような目標が達成される必要がある。



以上を踏まえ、評価可能な計画目標を整理すると、以下の項目が挙げられる。

評価の視点	評価指標	現状	前期 (H28)	後期 (H32)	データ根拠
外出の有無	歩行環境が原因で外出を控える人の割合	13.8% (H24)	13.8%	13.8%	市民アンケート
	【考え方】高齢化が進むが、外出しやすい環境を創出することで、現状の割合の維持を目指す。				
	【目指すべき方向性を達成するための戦略施策】				
					<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の整備 ・街灯の整備 ・放置自転車の撤去

評価の視点	評価指標	現状	前期 (H28)	後期 (H32)	データ根拠
バリアフリー化	低床式バス車両の導入率	32.3% (H24)	40.0%	48.0%	交通事業者
	【考え方】 前期（H26～H28）までに導入率を約7ポイント、後期（H29～H32）までに導入率を約8ポイントの増加を目指す。 (H20：24.3% → H24：32.3%の5年間で約8ポイントの増加。今後も、概ねその増加ペースを維持。)				
	【目指すべき方向性を達成するための戦略施策】 ・BRT（連節バス、PTPS等）の導入検討 ・低床式バス車両の導入促進				

評価の視点	評価指標	現状	前期 (H28)	後期 (H32)	データ根拠
交通事故の減少	総事故件数	794件 (H24)	635件	510件	交通管理者
	【考え方】 前期（H26～H28）までに20%（H24比）、後期（H29～H32）までに20%（H28比）の削減を目指す。 (H21～H24までの4年間で約20%の削減。今後も、概ねその削減ペースを維持。)				
	【目指すべき方向性を達成するための戦略施策】 ・自転車走行空間の整備 ・放置自転車の撤去 ・自転車安全安心利用指導員の配置 ・児童・生徒・学生への自転車マナー教育の実施 ・企業・事業所への自転車・自動車マナー教育の実施 ・自転車安全安心利用教室の開催				

評価の視点	評価指標	現状	前期 (H28)	後期 (H32)	データ根拠
公共交通の利便性	バスサービスへの満足度	15.9% (H24)	20.0%	25.0%	市民アンケート
	【考え方】 最終的な目標を25%と定め、段階的な満足度の向上を目指す。				
	【目指すべき方向性を達成するための戦略施策】 ・BRT（連節バス、PTPS等）の導入検討 ・各機能を共有したバス路線の一体化 ・行政枠を超えたコミュニティバスの一体化 ・低床式バス車両の導入促進 ・バスロケーションシステムの導入支援 ・ICカードの導入促進 ・幅員構成、信号現示、レーン長の見直し ・公共交通案内情報の充実 ・駅前ロータリーの運用見直し				

② 環境にやさしい交通まちづくりの実現

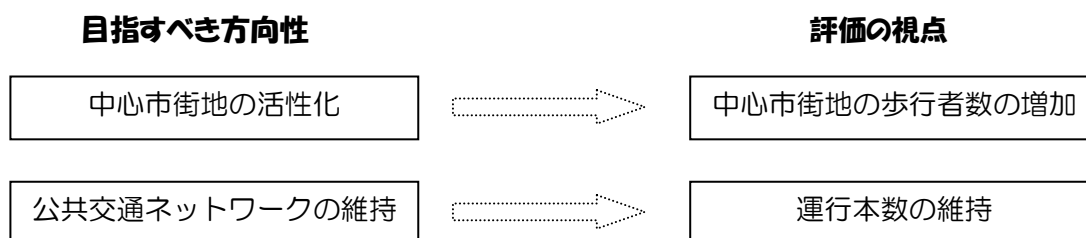
交通まちづくりの基本方針の一つである「環境にやさしい交通まちづくり」の実現に向けては、環境負荷の大きい自動車に頼らないことが重要となることから、以下のような目標が達成される必要がある。



評価の視点	評価指標	現状	前期 (H28)	後期 (H32)	データ根拠
他手段への転換	自動車利用の分担率	48.2% (H22)	-	41.3%	パーソントリップ調査
	【考え方】自動車分担率はH32までにH2（41.3%）と同水準まで改善する。				
	<p>【目指すべき方向性を達成するための戦略施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BRT（連節バス、PTPS等）の導入検討 ・各機能を共有したバス路線の一体化 ・行政枠を超えたコミュニティバスの一体化 ・バスロケーションシステムの導入支援 ・ICカードの導入促進 ・自転車走行空間の整備 ・コミュニティサイクル・レンタサイクルの整備促進 ・公共交通案内情報の充実 ・駅前ロータリーに流入する自家用車（キス&ライド車両）の規制・誘導検討 ・自転車駐輪場の整備（サイクル&バスライドの推進） ・地域支え合い運送支援事業の導入 ・モビリティ・マネジメントの実施 ・イベントやワークショップ等の開催 				

③ 地域を維持・活性化する交通まちづくりの実現

交通まちづくりの基本方針の一つである「地域を維持・活性化する交通まちづくりの実現」に向けては、都市拠点となる中心市街地の賑わいを創出することや、そのための公共交通ネットワークを維持することが重要であることから、以下のような目標が達成される必要がある。



評価の視点	評価指標	現状	前期 (H28)	後期 (H32)	データ根拠
中心市街地の歩行者数の増加	中心市街地の歩行者交通量	11,067人/日 (H24)	11,495人/日	11,923人/日	草津市
	【考え方】草津市中心市街地活性化基本計画が目指す増加トレンド(H30目標値：11,709人)を継続的に達成することを目指す。				
	【目指すべき方向性を達成するための戦略施策】				
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の整備 ・街灯の整備 ・自転車走行空間の整備 ・中心市街地の交通利便性の向上検討 ・草津川跡地へのアクセス環境の整備検討 					

評価の視点	評価指標	現状	前期 (H28)	後期 (H32)	データ根拠
運行本数の維持	草津駅発のバス運行本数	323本/日 (H24)	323本/日	323本/日	草津市
	【考え方】運行本数の維持による持続的な運行を目指す。				
	【目指すべき方向性を達成するための戦略施策】				
<ul style="list-style-type: none"> ・各機能を共有したバス路線の一体化 ・バスロケーションシステムの導入支援 ・ICカードの導入促進 ・公共交通案内情報の充実 ・駅前ロータリーに流入する自家用車（キス&ライド車両）の規制・誘導検討 ・モビリティ・マネジメントの実施 					

4.4 総合交通戦略の概要

3章で示した草津市都市交通マスタープランの基本理念・基本方針に基づき、基本施策の実行プランを作成する。なお、草津市都市交通マスタープランで導出した基本施策については、アンケートから得られた市民ニーズや少子高齢社会の中で優先すべきもの、実現性や即効性が高いものを重点施策として、市全域及び都市核となる草津駅を中心とした地域、南草津駅を中心とした地域に区分し、戦略施策に盛り込むものとする。

※草津駅を中心とした地域は、草津駅を主に利用されている草津、山田、笠縫、常盤、志津地域を示しており、南草津駅を中心とした地域は、老上、玉川、志津の一部地域を示している。

表 基本方針と都市交通マスタープラン基本施策の方向性の関係

計画の観点	基本施策の方向性	交通まちづくりの基本方針		
		① 人にやさしい 交通まちづくりの実現	② 環境にやさしい 交通まちづくりの実現	③ 地域を維持・活性化する 交通まちづくりの実現
新交通システムに関する計画	新たな交通ネットワークの形成	○	○	○
バスに関する計画	バス交通サービスの確保・維持・改善	○	○	○
自動車に関する計画	道路環境の整備	○	○	
自転車・歩行者に関する計画	自転車・歩行者の利便性向上	○	○	
交通結節点に関する計画	異なる交通手段間の連携	○	○	
ソフト施策に関する計画	自動車に頼らない市民意識の醸成		○	
	安全に対する市民意識の向上	○		
草津市中心市街地活性化基本計画・草津川跡地利用基本計画との連携	中心市街地活性化・草津川跡地有効活用への貢献	○	○	○

【基本施策の体系図】

草津市都市交通 マスタープラン (基本施策の方向性)	関係する 基本方針	草津市総合交通戦略 (取り組む基本施策)	対象地域			
			市全域	草津駅を中心とした地域	南草津駅を中心とした地域	
新たな交通ネットワークの形成	①	・新交通システムの導入				
	②	★BRT（連節バス、PTPS等）の導入検討			○	
	③					
バス交通サービスの確保・維持・改善	①	・効率的なバス事業の展開				
		★各機能を共有したバス路線の一体化	○			
		★行政枠を超えたコミュニティバスの一体化	○			
	②	・快適なバス周辺環境の整備				
		③	★低床式バス車両の導入促進	○		
		★バスロケーションシステムの導入支援	○			
		★ICカードの導入促進	○			
道路環境の整備	①	・交差点改良				
	②	★幅員構成、信号現示、レーン長の見直し			○	
自転車・歩行者の 利便性向上	①	・歩行環境の改善				
		★歩行空間の整備		○	○	
		★街灯の整備	○			
	②	・自転車利用環境の整備				
		★自転車走行空間の整備		○	○	
		★放置自転車の撤去		○	○	
		★コミュニティサイクル・レンタサイクルの整備促進	○			
	★自転車安全安心利用指導員の配置	○				

※基本方針：①人にやさしい交通まちづくりの実現、②環境にやさしい交通まちづくりの実現、③地域を維持・活性化する交通まちづくりの実現

【基本施策の体系図(続)】

草津市都市交通 マスタープラン (基本施策の方向性)	関係 する 基本 方針	草津市総合交通戦略 (取り組む基本施策)	対象地域		
			市全域	草津駅を 中心とし た地域	南草津駅を 中心とし た地域
異なる交通手段 の連携	①	・鉄道駅における乗継利便性の強化			
		★公共交通案内情報の充実		○	○
	②	・駅前ロータリーの運用見直し			○
		★駅前ロータリーに流入する自家用車 (キス&ライド車両)の規制・誘導検討		○	○
		・バス停等へのアクセス性強化			
		★自転車駐輪場の整備(サイクル&バス ライドの推進)	○		
		★地域支え合い運送支援事業の導入	○		
自動車に頼ら ない市民意識の醸 成	②	・徒歩、公共交通、自転車の利用促進に向けた普及			
		★モビリティ・マネジメントの実施	○		
		★イベントやワークショップ等の開催	○		
安全に対する市 民意識の向上	①	・マナー教育の実施			
		★児童・生徒・学生への自転車マナー教育の実施	○		
		★企業・事業所への自転車・自動車マナー教育の実施	○		
		★自転車安全安心利用教室の開催	○		
中心市街地活 性化・草津川跡地有 効活用への貢献	①	・中心市街地の交通利便性の向上			
		★中心市街地の交通利便性の向上検討		○	
	③	・草津川跡地への交通利便性の向上			
		★草津川跡地へのアクセス環境の整備 検討		○	

※基本方針：①人にやさしい交通まちづくりの実現，②環境にやさしい交通まちづくりの実現，
③地域を維持・活性化する交通まちづくりの実現

4.5.1 全市的に取り組む施策

草津市では、モータリゼーションの進展に伴い、バスサービスの維持が困難な地域も存在している。しかしながら、今後の高齢社会を見据えると、交通弱者の移動を支える公共交通の役割は大きくなると考えられるため、公共交通を中心とした交通サービスを維持することが重要な交通課題となっている。そのためには、市民の意識を変える取組と利用しやすい環境をあわせて整備することが求められている。


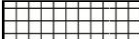

また、学生、従業者、高齢者など、多様な市民が共存する草津市では、交通のニーズも多様になることから、公共交通だけでなく、歩行環境や自転車利用環境にも配慮することが求められる。




さらには、多様な市民を受け入れている教育機関や企業・事業所等が一体となった取組にも重点を置くことが求められる。

<全市的に取り組む施策（市域や地域を跨いで取り組む施策）>

- 効率的なバス事業の展開
 - ★ 各機能を共有したバス路線の一体化（路線バスとコミュニティバス）
 - ★ 行政の枠を超えたコミュニティバスの一体化（まめバス、くりちゃんバス等）
- 快適なバス周辺環境の整備
 - ★ 低床式バス車両の導入促進
 - ★ バスロケーションシステムの導入支援
 - ★ ICカードの導入促進
- 歩行環境の改善
 - ★ 街灯の整備
- 自転車利用環境の整備
 - ★ コミュニティサイクル・レンタサイクルの整備促進
 - ★ 自転車安全安心利用指導員の配置
- バス停等へのアクセス性強化
 - ★ 自転車駐輪場の整備（サイクル&バスライドの推進）
 - ★ 地域支え合い運送支援事業の導入
- 徒歩、公共交通、自転車の利用促進に向けた普及
 - ★ モビリティ・マネジメントの実施
 - ★ イベントやワークショップ等の開催
- マナー教育の実施
 - ★ 児童・生徒・学生への自転車マナー教育の実施
 - ★ 企業・事業所への自転車・自動車マナー教育の実施
 - ★ 自転車安全安心利用教室の開催

(1) 効率的なバス事業の展開

★ 各機能を共有したバス路線の一体化（路線バスとコミュニティバス）								
内 容	草津市で運行しているバス路線（幹線、フィーダー、コミュニティバス等）について、運行路線やダイヤの検討を一体となってい、事業者にとって持続可能な運行を実現するとともに、利用者にとっても利便性の高い運行サービスを提供する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○	○				△		近隣市
	【市の役割】 ・ 各関係者間で今後の運行内容等を協議する場の創出（市が管理・運営）等							
対 象	・ 草津市全域（+ 近隣市）							
留意事項	【問題点】 ・ 交通事業者の自主的な運営・競争を阻害する可能性があること 【課 題】 ・ 交通事業者の独立採算による運営・競争を維持すること							
スケジュー ール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備			導入目標			実施・継続

★ 行政の枠を超えたコミュニティバスの一体化（まめバス、くりちゃんバス等）								
内 容	草津市で運行しているコミュニティバスおよび隣接市で運行しているコミュニティバスについて、運行路線やダイヤの検討を一体となってい、それぞれが持続可能な運行を実現するとともに、利用者にとっても利便性の高い運行サービスを提供する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○	○				△		近隣市
	【市の役割】 ・ 各関係者間で今後の運行内容等を協議する場の創出（市が管理・運営）等							
対 象	・ 草津市全域（+ 近隣市）							
留意事項	【課 題】 ・ 運行にかかる財源を確保すること							
スケジュー ール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備			導入目標			実施・継続



草津市民憲章

- 私たち草津市民は
- 1.古い歴史に受けあつた新しい文化をつくり、住みよいまちをきずくためにあたたかい心を持ちあつて、ともにあすへの歩みを進めましょう。
 - 1.豊かな生産に努めましょう。
 - 1.高い教養を伸ばしましょう。
 - 1.明るい環境を整えましょう。
 - 1.良い風習を育てましょう。



「草津・栗東くるっとバス」の新しいロゴマーク

バス路線の改編について

変更点は次のとおりです。

- 1 笠縫東常盤線が、「くりちゃんバス(栗東市のコミュニティバス)」と「近江バス」と提携し、新しい運行経路として生まれ変わります。JR草津駅から、JR栗東駅や済生会病院へ行く路線は、「草津・栗東くるっとバス」に変わります。
- 2 南笠・笠山医大線と中心市街地線を統合します。JR草津駅から滋賀医大病院まで、乗り換えずに行くことができます。

改編ルートやダイヤについては、今号の広報くさつと一緒に配布した「まめバスマップ」か、市ホームページを見てください。

交通政策課(5階、☎561-2343、FAX561-2487)

熱中症に気をつけて!

予防と応急手当の基本は、休憩・冷却・水分補給です。正しい知識と適切な処置で、熱中症を予防しましょう。



- シリーズ・お知らせ…………… 2～7、9～12ページ
- げんき予報…………… 8、9ページ
- でんごんばん…………… 11ページ

図 くりちゃんバス(栗東市)と一体となったまめバスの運行を周知する「広報 くさつ H25. 9. 15号」

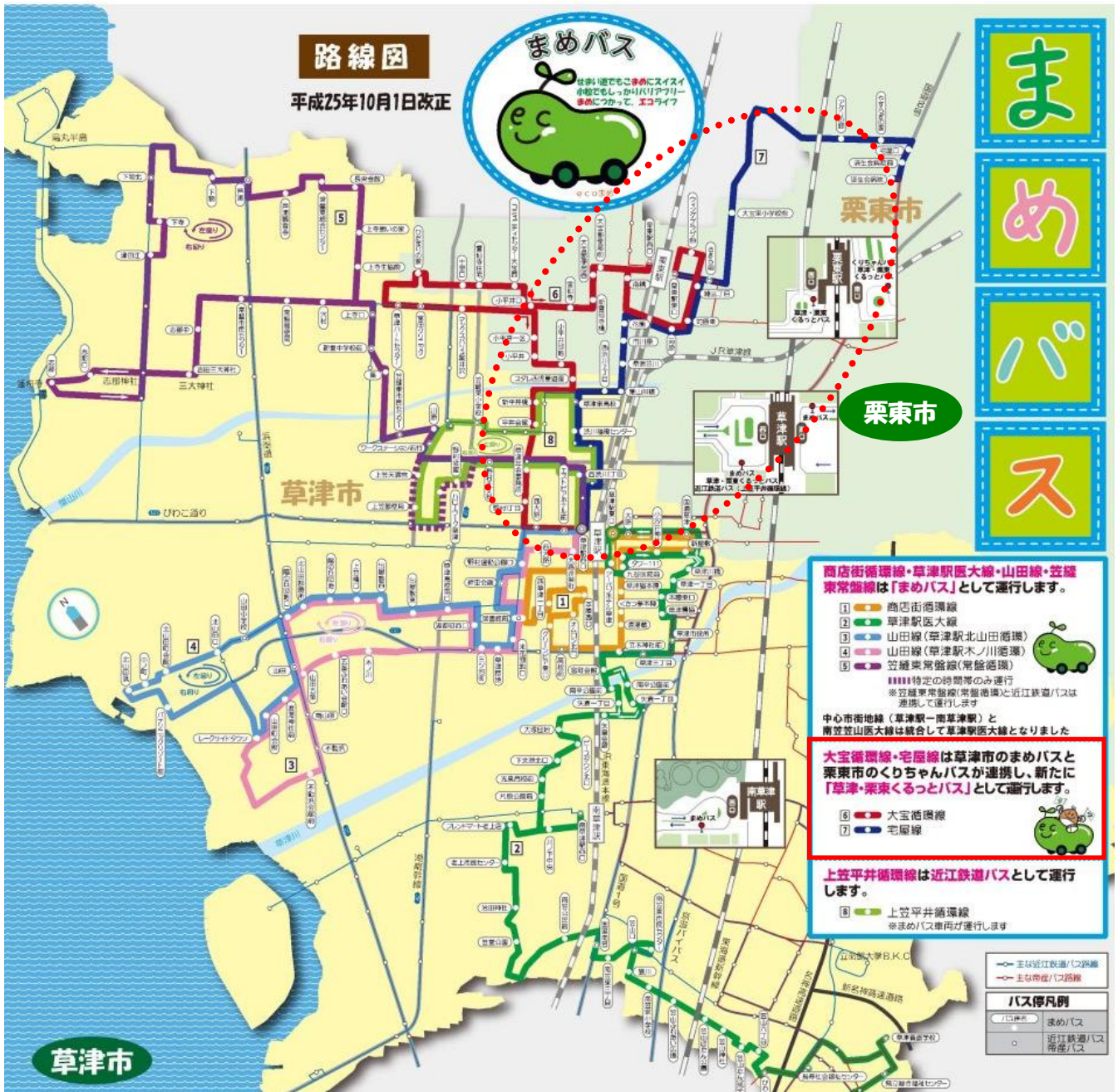

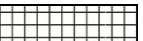



図 草津・栗東くるっとバスの運行ルート図



写真 草津・栗東くるっとバス車両(左・中央)と停留所(右)

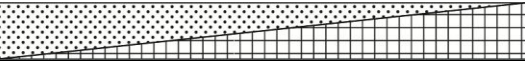


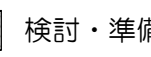
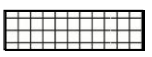

(2) 快適なバス周辺環境の整備

★ 低床式バス車両の導入促進							
内容	<p>現在、市内を走行する路線バスの車両の一部に、高齢者や身体障害者に限らず誰もが乗り降りのしやすい低床式のバス車両（ノンステップバス、ワンステップバス）が導入されている。</p> <p>今後ますます高齢者が増えていくことが予想されるなか、誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公共交通の構築に向けて、低床式バス車両導入の促進を図る。</p>						
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者 その他
	△	○			△	△	
	<p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等 						
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草津市域を運行する全路線* 						
留意事項	<p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事業者単独での導入は採算上困難であること <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入等にかかる費用を確保すること ・ 費用負担のあり方等を決定すること 						
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）		
					⇒		
		検討・準備		導入目標		実施・継続	

※ 路線バス及びコミュニティバス



写真 低床式バス車両（左：ワンステップバス，右：ノンステップバス）

★ バスロケーションシステムの導入支援								
内 容	バスの運行状況が、自宅や勤務先でもわかるよう、WEB によるバスロケーションシステムの導入を支援する。また、バス車内で鉄道との乗継情報や運行車両（バリアフリー対応車等）の情報などを提供する情報システムの整備を支援する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	△	○			△	△		
	【市の役割】							
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等 							
対 象	・ 草津市域を運行する全路線*（運行頻度の少ないところでも有効）							
留意事項	【問題点】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入等にかかる新たな費用（初期+運用）が発生すること 【課 題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用（初期+運用）を確保すること ・ 費用負担のあり方等を決定すること 							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
								
								

※ 路線バス及びコミュニティバス



資料：京阪バス資料

図 京阪バスによるバスロケーションシステムの導入例

★ ICカードの導入促進							
内容	現在、近江鉄道バスにおいて、一部の区間においてICカードが導入されている。今後、複数モード（鉄道⇔バス等）での乗継利便性を考慮し、公共交通利用者が1枚のカードで乗継を行えるよう、共通ICカードの導入を促進する。						
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者 その他
	△	○			△	△	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等						
対象	・ 草津市域を運行する全路線*						
留意事項	【問題点】 ・ 現在は近江鉄道バスのみで利用（一部区間）できること（他のバスでの利用や鉄道での相互利用は不可） ・ 導入等に新たな費用（初期+運用）が発生すること 【課題】 ・ 費用（初期+運用）を確保すること ・ 費用負担のあり方等を決定すること ・ 現行のシステムを維持しながら相互利用できるようにしていくこと ・ 交通事業者間での調整が必要となること						
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）		
	[点線パターン] 検討・準備		[格子パターン] 導入目標		[黒塗り] 実施・継続		

※ 路線バス及びコミュニティバス

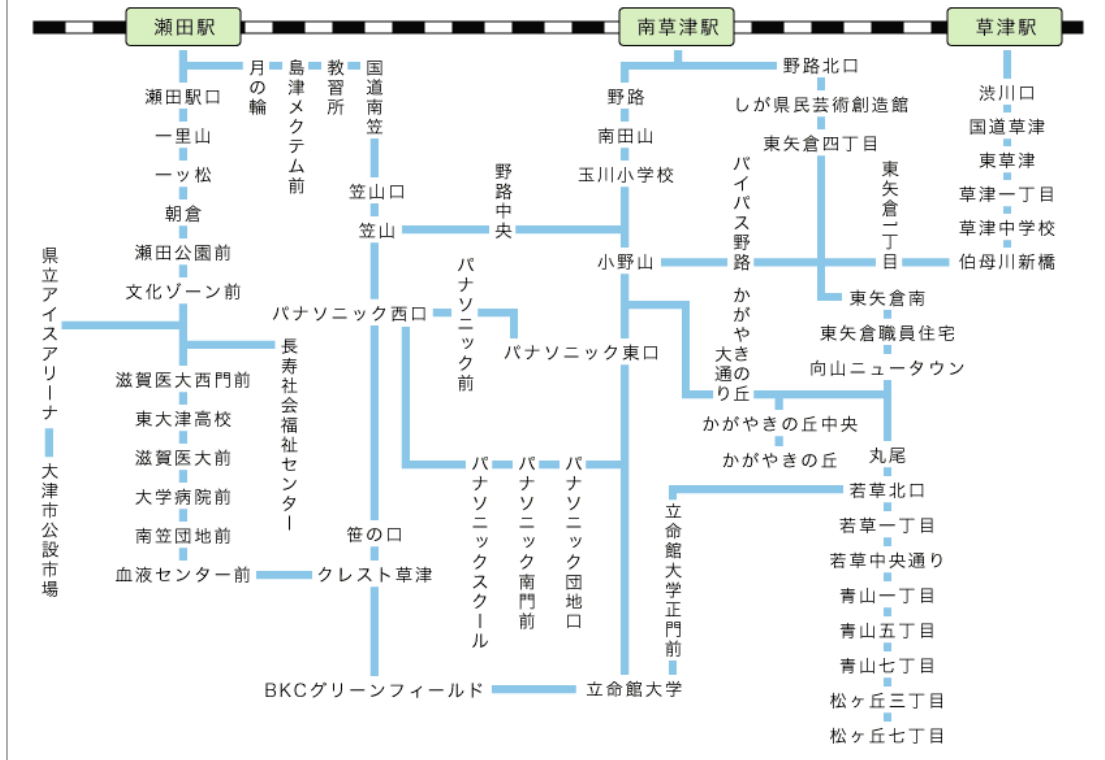
ご利用方法



資料：京阪バス HP

図 ICカードの利用イメージ

近江鉄道バス ICカード ご利用可能エリアマップ



資料：近江鉄道バス HP

図 近江鉄道バス IC カードの利用可能エリア

交通系ICカードの全国相互利用サービス【交通編】

◆ 全国相互利用サービスの実現により、お手持ちの1枚の交通系ICカードで、全てのエリアの鉄道・バスのご乗車が可能になります。

全国相互利用(交通)サービスの対象

対象の交通系ICカード

Kitaca

PASMO

Suica

manaca (マナカ)

TOICA

PiTaPa

ICOCA

はやかけん

nimoca

SUGOCA

主なサービス

- ・自動改札機での入出場
- ・バス車載機での乗車・降車
- ・自動券売機等でのチャージ※
- ・カードの利用履歴の表示、印字※
- ・カード残額を利用した自動券売機での乗車券等の購入※

※ 一部の機器等を除きます。

駅数・バス台数	
Kitacaエリア	【鉄道】55駅
PASMOエリア	【鉄道】1,212駅／【バス】14,800台
Suicaエリア	【鉄道】811駅／【バス】532台
manaca(マナカ)エリア	【鉄道】379駅／【バス】1,618台
TOICAエリア	【鉄道】149駅
PiTaPaエリア	【鉄道】860駅／【バス】1,300台
ICOCAエリア	【鉄道】430駅
はやかけんエリア	【鉄道】35駅
nimocaエリア	【鉄道】72駅／【バス】3,200台
SUGOCAエリア	【鉄道】272駅
計	【鉄道】4,275駅／【バス】21,450台

・上記のバス台数は、いずれも2012年12月1日現在の数値です。

エリア(イメージ)

・各エリアをまたがってのご利用はできません。ただし、首都圏のSuicaエリアとPASMOエリア及び九州のSUGOCAエリアとはやかけんエリアの一部(相互直通区間)はご利用になります。
 ・一部ご利用にならない交通事業者があります。

資料：参画鉄道会社プレス資料

図 交通系 IC カードの全国相互利用サービス

(3) 歩行環境の改善

★ 街灯の整備							
内 容	時間や場所を問わず、市民が安心して、快適に移動できるよう、街灯の整備を進める。その際には、これまでの白熱灯や蛍光灯などにはない多くのメリット（長寿命、省エネルギー、高輝度、CO2 削減等）を兼ね備える LED 照明の設置を推進する。						
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者 その他
	○				○	○	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等						
対 象	・ 生活道路（交通量や既存の整備率等を考慮して順次拡大）						
留意事項	【課 題】 ・ 整備の優先順位を決定すること						
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）		
	[点状パターン]				[格子パターン] ⇒		
	[点状パターン]	検討・準備	[格子パターン]	導入目標	[塗りつぶしパターン]	実施・継続	



写真 街灯(LED)の整備イメージ

(4) 自転車利用環境の整備


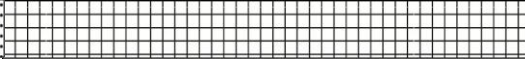

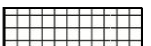

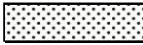
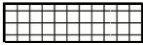

★ コミュニティサイクル・レンタサイクルの整備促進								
内 容	自転車の保有有無を問わず、誰もがいつでも自転車を利用できるように、サイクルポートを複数有するコミュニティサイクルやレンタサイクルの整備を促進する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	△	△	○		△			
対 象	【市の役割】							
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等 							
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要施設周辺（【選定の考え方】）ならびに自転車の利用状況等を踏まえ判断） 							
	<ul style="list-style-type: none"> 【選定の考え方】 ・ 交通結節点となり、自転車利用者の多い地点（例：草津駅、南草津駅） ・ 主要な環境施設が立地し、自転車の利用環境を提供することで、観光による回遊が誘発できると想定される地点（例：琵琶湖博物館、矢橋帰帆島公園など） ・ 多様な交通が発生し、自転車の利用環境を提供することで、自動車による移動が抑制できると想定される地点（例：立命館大学、大規模工場、大規模商業施設など） ・ にぎわい拠点（例：草津川跡地、ロクハ公園など） 							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
								
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			



写真 コミュニティサイクルの導入イメージ



写真 レンタサイクルの導入イメージ

★ 自転車安全安心利用指導員の配置								
内 容	自転車の安全な利用および自転車の盗難の防止を目的として、日常的な指導・啓発活動を継続的に実施するため、自転車安全安心利用指導員を市内に配置し、警察と連携・協力して指導・取締を行う。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○						○	関係団体
	【市の役割】 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 草津市民 (自転車安全安心利用指導員については、利用者も多く、かつ放置自転車等のマナー・ルール啓発が重要となる重点地区を中心に配置)							
留意事項	【課 題】 ・ 広範囲で活動できるよう自転車安全安心利用指導員を多数確保すること ・ 警察との連携を強化すること							
スケジュール	前期 (～H28)				後期 (～H32), (⇒：以降継続)			
					⇒			
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			



資料：埼玉県 HP

写真 安全利用指導のイメージ



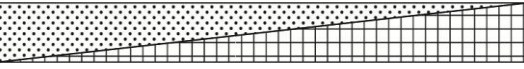


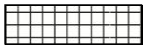

資料：大分市 HP

写真 街頭啓発活動のイメージ



図 自転車利用環境の整備の概要

(5) バス停等へのアクセス性強化

★ 自転車駐輪場の整備（サイクル&バスライドの推進）								
内 容	居住地から最寄りのバス停までが離れている市民のバス利用を推進するため、バス停付近への自転車駐輪場を整備する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○	○		○	△	△		
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 直近にバス不便地域を有するバス停							
留意事項	【課 題】 ・ 駐輪場用地を確保すること ・ 実施主体を決定すること ・ 費用負担のあり方等を決定すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
								
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			⇒

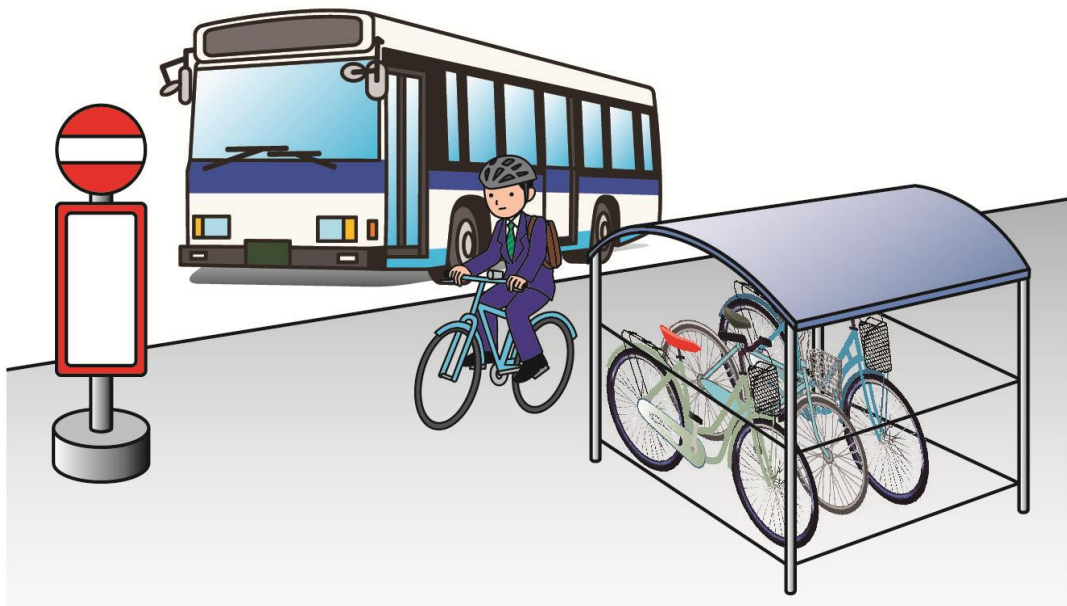


図 サイクル&バスライドのイメージ

★ 地域支え合い運送支援事業の導入								
内 容	<p>移動手段が限られていることより、社会とのつながりが希薄化している方や日常生活支援が必要な方等に対して、地域の活動団体が主体的に取り組む支え合い、助け合う活動の一環として移動困難者等を支援する輸送サービスを導入する。</p>							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	△			○	△	△	△	
	<p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等 							
対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段に困っている高齢者や障害者等の交通弱者 							
留意事項	<p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の路線バス等からの利用客の転換の可能性が考えられること <p>【課 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な運営主体を確保すること ・ 輸送形態や運行頻度、車両等の運行サービスの内容を決定すること ・ 費用負担のあり方等を決定すること 							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32）,（⇒：以降継続）			
		検討・準備		導入目標		実施・継続		

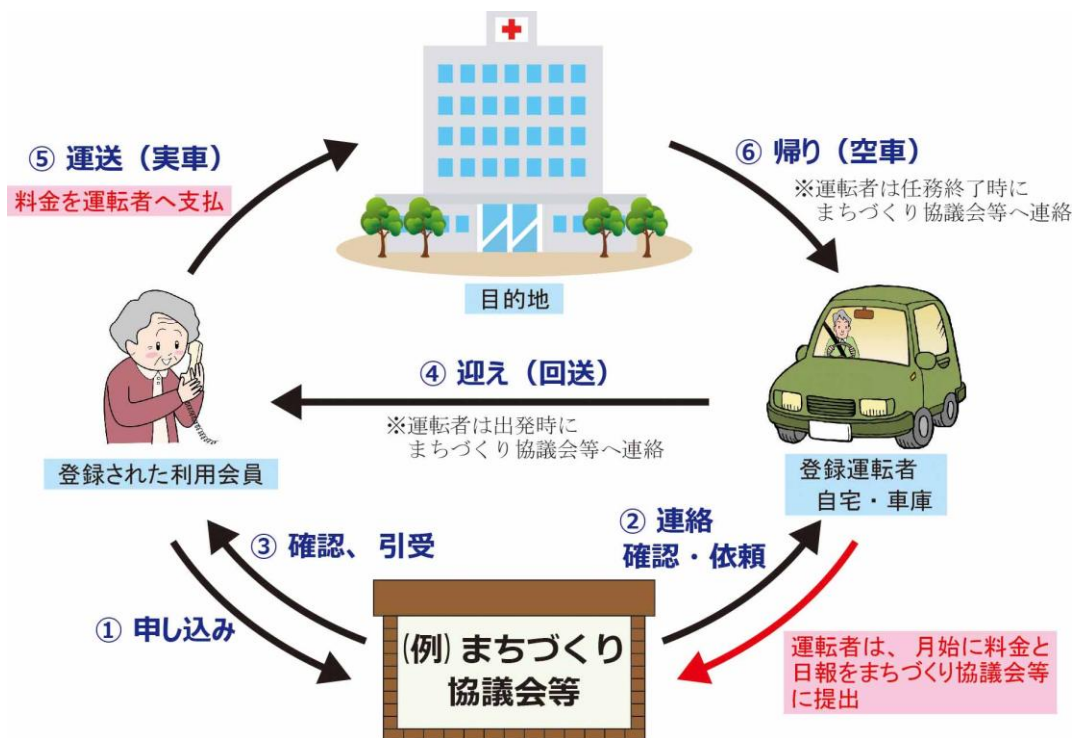

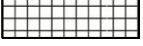



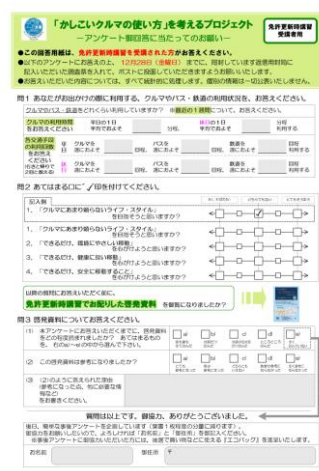
図 地域支え合い運送支援事業のイメージ

(6) 徒歩、公共交通、自転車の利用促進に向けた普及

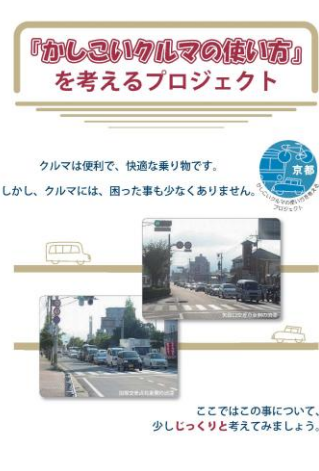
★ モビリティ・マネジメントの実施								
内容	<p>自動車に過度に依存したライフスタイルからの転換を図るため、徒歩、公共交通、自転車への転換を促すモビリティ・マネジメントを実施する。</p> <p>その際、公共交通の魅力を高める施策（利便性の向上や料金施策等）や自動車利用に対する施策（通勤制度の見直しや自動車の利用規制、課金施策等）をあわせて実施することで、“自発的な行動変容”をより大きく期待できるモビリティ・マネジメントの展開が可能となる。</p>							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○	△			△	△		教育機関
対象	<p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等 <p>・ 草津市民</p> <p>・ 通学する児童・生徒・学生</p> <p>・ 事業所および従業員</p>							
留意事項	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な実施に協力してくれる地元や教育機関、企業・事業所を確保すること ・ 規制・誘導施策を展開する際には適切な説明が重要になること ・ 費用の確保や費用負担のあり方等を決定すること 							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			



(配布用封筒)



(事前調査票)



(啓発冊子)



(事後調査票)

図 モビリティ・マネジメントの実施に用いるグッズ例

■ 学習の流れ(3 時限版)

授業形態	授業時間数	学習活動
出前講座	1 時限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化について ・ 二酸化炭素の排出について
出前講座	1 時限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二酸化炭素を減らす方法を考えてみよう！ ・ かしこいクルマの使い方について ・ 家庭で一緒に使える車の使い方アンケート
体験学習	1 時限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスにのってみよう！ ・ バスの乗り方教室 ・ 「環境と乗り物について考えてみよう」事後アンケート

■ 授業の様子



■ バスの乗り方教室の様子



資料：豊橋市HP

写真 学校教育におけるモビリティ・マネジメント(小学生を対象とした出前講座)のイメージ


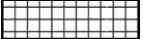

★ イベントやワークショップ等の開催								
内 容	自動車に過度に依存したライフスタイルからの転換を図るため、市民が協働でか しこいクルマの使い方を考え、実践できるよう、イベントやワークショップ等を定 期的に開催する。							
関係者	草津市	交通 事業者	企業・ 事業所	市民	国	滋賀県	交通 管理者	その他
	○	△				△		教育機関
○：主体 △：支援	【市の役割】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 ・ 市民や企業・事業者、教育機関等との連携強化 等 							
対 象	・ 草津市民							
留意事項	【課 題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的に取組を行う運営主体（自治会やNPO等）を養成すること ・ 持続可能な支援体制を構築すること ・ 費用の確保や費用負担のあり方等を決定すること 							
スケジ ュ ール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備			導入目標			実施・継続



写真 公共交通利用に関するワークショップのイメージ(左：開催風景、右：発表風景)




(7) マナー教育の実施

★ 児童・生徒・学生への自転車マナー教育の実施								
内 容	自転車事故の防止を図るため、自転車の安全利用に関する啓発・教育を行う。							
関係者	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○					△	△	関係団体
○：主体 △：支援	【市の役割】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 ・ 教育機関等との連携強化 等 							
対 象	・ 児童・生徒・学生							
留意事項	【課 題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な実施に協力してくれる教育機関や地元を確保すること ・ 警察との連携を強化すること 							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備			導入目標			実施・継続



資料：尼崎市 HP

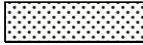
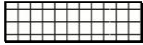

写真 体験型自転車安全教室のイメージ

★ 企業・事業所への自転車・自動車マナー教育の実施								
内 容	自動車・自転車事故の防止を図るため、安全意識の向上に向けた取組を実施する。 平成 25 年 12 月 1 日に改正された道路交通法の内容の周知を図る。							
関係者	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○					△	△	関係団体
○：主体 △：支援	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 ・ 企業・事業者等との連携強化 等							
対 象	・ 企業、事業所							
留意事項	【課 題】 ・ 継続的な実施に協力してくれる企業・事業所や地元を確保すること ・ 警察との連携を強化すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備		導入目標		実施・継続		



資料：滋賀県 HP

写真 車両の安全確認(左・中央)や安全意識の啓発に向けた講習会(右)のイメージ

★ 自転車安全安心利用教室の開催								
内 容	自転車の安全な利用および自転車の盗難の防止を図るため、自転車安全安心利用教室を開催する。 受講者には、修了証または自転車運転免許証を交付する。							
関係者	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○						○	関係団体
○：主体 △：支援	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 ・ 市民等との連携強化 等							
対 象	・ 草津市民							
留意事項	【課 題】 ・ より多くの市民の参加を促進すること ・ 市民の認知度を高め、修了証の価値を創出すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備			導入目標			実施・継続



出典：宇都宮市 HP

写真 自転車安全安心利用教室のイメージ

4.5.2 草津駅を中心とした地域で取り組む施策

草津駅を中心とした地域については、公共施設や商業施設等が集中する地域であり、古くから都市の中心として発展してきた。しかしながら、モータリゼーションの進展に伴い、大型商業施設が郊外のロードサイドに進出するなど、中心市街地の商業機能は急速に低下し、さらには本陣周辺エリア等の高齢化の進展やそれに伴う空き家・空き店舗の増加などにより、今後、中心市街地のさらなる衰退が懸念されるため、「草津市中心市街地活性化基本計画」による中心市街地の活性化を進めている。また、草津川跡地の有効な利用を目指した「草津川跡地利用基本計画」を策定し、集約型都市構造の核となる中心市街地の回遊性向上につながる交通まちづくりと、新たな都市機能を有する草津川跡地とのアクセス性を考慮したまちづくりが求められている。

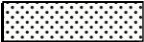
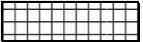

また、この地域は、公共施設や商業施設が多いことから、市域でも歩行者や自転車が集中する地域であり、周辺を歩行する高齢者をはじめとする交通弱者も多くなっているが、バリアフリー化が十分でない区間も存在している。さらには、自転車に関連する交通事故が問題になっているほか、狭い歩行空間に違法駐輪が放置され、歩行の妨げになっている光景もみられる。

一方、草津駅については、乗り継ぎ利用者が集中しており、家族に自動車で駅まで送迎してもらおうキス&ライド車両を原因とする交通の錯綜も発生しているため、適切な駅前空間の活用が望まれる地域である。

<草津地域で取り組むべき施策>

- 歩行環境の改善
 - ★ 歩行空間の整備
- 自転車利用環境の整備
 - ★ 自転車走行空間の整備
 - ★ 放置自転車の撤去
- 鉄道駅における乗継利便性の強化
 - ★ 公共交通案内情報の充実
 - ★ 駅前ロータリーに流入する自家用車（キス&ライド車両）の規制・誘導検討
- 中心市街地の交通利便性の向上
 - ★ 中心市街地の交通利便性の向上検討
- 草津川跡地への交通利便性向上
 - ★ 草津川跡地へのアクセス環境の整備検討

(1) 歩行環境の改善

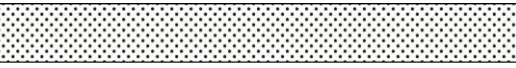
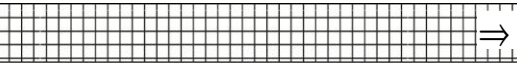

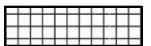

★ 歩行空間の整備								
内 容	安全・安心かつ快適な歩行環境を確保するため、連続性に配慮した歩行空間の整備を行う。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○				○	○	○	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 草津駅周辺の道路（交通量や利用特性、既存の整備率等を考慮して順次拡大）							
留意事項	【課 題】 ・ 道路空間の適切な使い方を決定すること ・ 整備の優先順位を決定すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備			導入目標			実施・継続



出典：滋賀県歩道整備マニュアル(H25.5 改訂)

写真 歩道整備のイメージ【大津能登川長浜線(守山市)】

(2) 自転車利用環境の整備

★ 自転車走行空間の整備								
内 容	自転車利用者と歩行者や自動車との事故を避けるため、自転車走行空間を整備する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○				○	○	○	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 草津駅周辺の道路（交通量や利用特性等を考慮して順次拡大）							
留意事項	【問題点】 ・ 自動車や歩行者の空間が狭くなること 【課 題】 ・ 道路空間の適切な使い方を決定すること ・ 整備の優先順位を決定すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					 ⇒			
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			

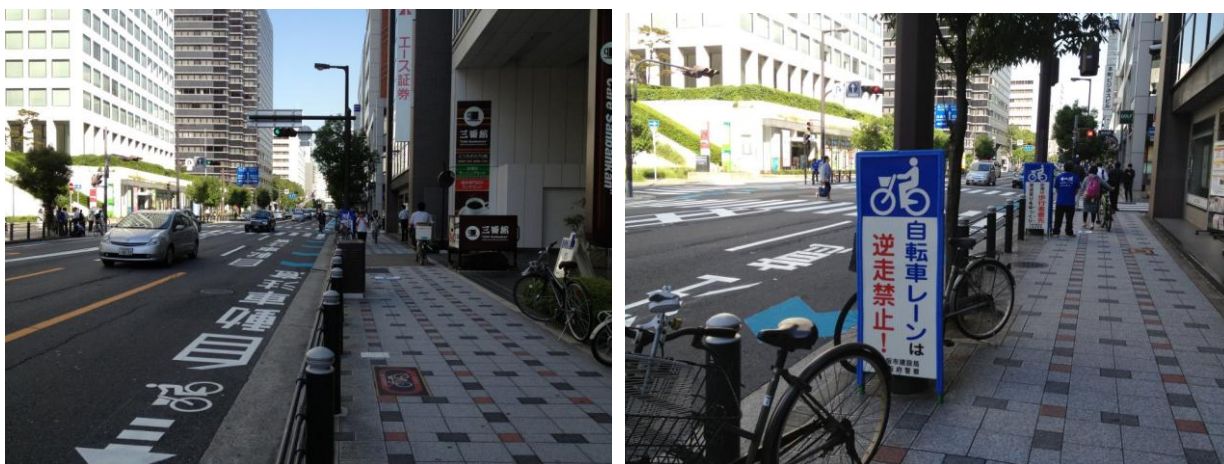


写真 自転車レーンのイメージ【大阪市】

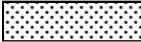
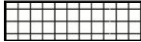

★ 放置自転車の撤去								
内 容	秩序ある自転車利用を図るため、放置自転車の取締りを強化し、快適な駅周辺環境を実現する。							
関係者	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○						○	
○：主体 △：支援	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 ・ 市民や企業・事業所等との連携強化 等							
対 象	・ 草津駅周辺							
留意事項	【課 題】 ・ 自転車の撤去・保管・処分費用を確保すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備			導入目標			実施・継続



写真 歩道上の違法駐輪の例【草津駅周辺】

(3) 鉄道駅における乗継利便性の強化


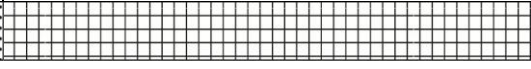
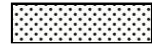
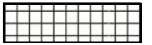

★ 公共交通案内情報の充実							
内容	鉄道駅では、多様な目的の人々が様々な交通機関を利用するため、電車やバスの発車時間や乗り場案内などの各種情報を、わかりやすく案内表示し、利用者の利便性向上、公共交通の利用促進を図る。また、公共交通の情報だけでなく、周辺自治体の行政情報や観光情報等の各種情報を発信し、乗り継ぎまでの時間で買い物や食事等で楽しんでいただくなど、まちの活性化につなげる。						
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者 その他
	○	○	△		△	△	
	【市の役割】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 						
対象	・ 草津駅構内 及び 周辺						
留意事項	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用の確保（初期+運用）や費用負担のあり方等を決定すること ・ ダイヤ改正など、最新の案内情報への更新を図ること ・ 継続的な実施に協力してくれる地元や企業・事業所を確保すること 						
スケジュール	前期（～H28）			後期（～H32），（⇒：以降継続）			
	検討・準備			導入目標		実施・継続	



(乗換案内情報)

(自治体情報)

写真 デジタルサイネージ(電子看板)を活用した公共交通案内情報システム

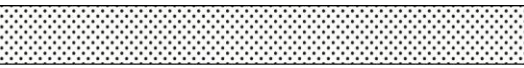
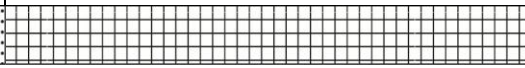

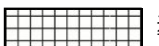

★ 駅前ロータリーに流入する自家用車（キス&ライド車両）の規制・誘導検討								
内 容	駅前ロータリーの交通混雑や自家用車と公共交通の輻輳を防止するために、自家用車（キス&ライド*車両）の流入を段階的に規制し、適切な場所へ誘導する方法について検討する。							
関係者	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○					△	○	
○：主体 △：支援	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 ・ 規制を設ける上での手続き等の対応 等							
対 象	・ 草津駅周辺							
留意事項	【問題点】 ・ 周辺道路にキス&ライド車両が発生する可能性があること 【課 題】 ・ 適切な待機スペースを確保すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
								
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			






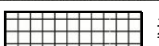

※家族等に自動車で駅やバス停まで送り迎えしてもらい、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用して目的地まで移動すること

図 キス&ライドのイメージ

(4) 中心市街地の交通利便性の向上

★ 中心市街地の交通利便性の向上検討								
内 容	中心市街地の回遊性を高めるため、渋滞が発生している周辺道路の整備及び交通規制やバス運行などの交通利便性の向上について検討する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○	○			△	△	○	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 中心市街地周辺							
留意事項	【課 題】 ・ 道路空間の適切な使い方を決定すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
								
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			

(5) 草津川跡地への交通利便性の向上

★ 草津川跡地へのアクセス環境の整備検討								
内 容	草津川跡地へのアクセス向上および周辺地域の生活道路としての活用を図るため、アクセス環境の整備を検討する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○				△	△		
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 草津川跡地周辺							
留意事項	【課 題】 ・ 適切なアクセス手段を決定すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
								
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			

4.5.3 南草津駅を中心とした地域で取り組む施策

南草津駅周辺地域については、周辺の大学や企業・事業所等へアクセスする利用者が集中し、バス待ちによる駅前ロータリーの飽和、バスの快適性低下、国道1号や交差道路での交通混雑の発生が慢性化していることが問題となっている。

また、市域でも歩行者や自転車が集中する地域でもあり、自転車に関する交通事故が問題になっているほか、狭い歩行空間に違法駐輪が放置され、歩行の妨げになっている光景もみられる。駅や商業施設等へは、高齢者をはじめとする交通弱者の来訪も多いことから、ハード面・ソフト面でのバリアフリー化も含め、安全な歩行環境の整備が重要な地域となっている。

<南草津駅周辺地域で取り組むべき施策>

- 新交通システムの導入
 - ★ BRT（連節バス、PTPS等）の導入検討
- 交差点改良
 - ★ 幅員構成・信号現示・レーン長の見直し
- 歩行環境の改善
 - ★ 歩行空間の整備
- 自転車利用環境の整備
 - ★ 自転車走行空間の整備
 - ★ 放置自転車の撤去
- 鉄道駅における乗継利便性の強化
 - ★ 公共交通案内情報の充実
 - ★ 駅前ロータリーの運用見直し
 - ★ 駅前ロータリーに流入する自家用車（キス&ライド車両）の規制・誘導検討

(1)新交通システムの導入

★ BRT（連節バス、PTPS等）の導入検討								
内 容	定時性、快適性を確保したバスサービスが提供されるよう、輸送力の大きい連節バスの導入や速達性の向上を図るPTPS等の導入を検討する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○	○	△		△	△	○	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 南草津駅～工業拠点、立命館大学を結ぶ路線							
留意事項	【問題点】 ・ PTPS等の信号制御方策の導入により、自動車にとって不利な信号現示になる可能性があること ⇒ 道路混雑が悪化する可能性がある ・ 信号システムの変更費用が発生すること 【課 題】 ・ 道路構造と適合した連節バスの運行実現性を確認すること ・ 交通全般への影響に配慮したシステムを構築すること ⇒ 連節バスや PTPS等の信号制御方策の導入に合わせた道路環境の整備の検討等 ・ 導入にかかる費用等を確保すること ・ 費用負担のあり方を決定すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
	[点状パターン]				[格子パターン] ⇒			
	[点状パターン] 検討・準備		[格子パターン] 導入目標		[塗りつぶし] 実施・継続			

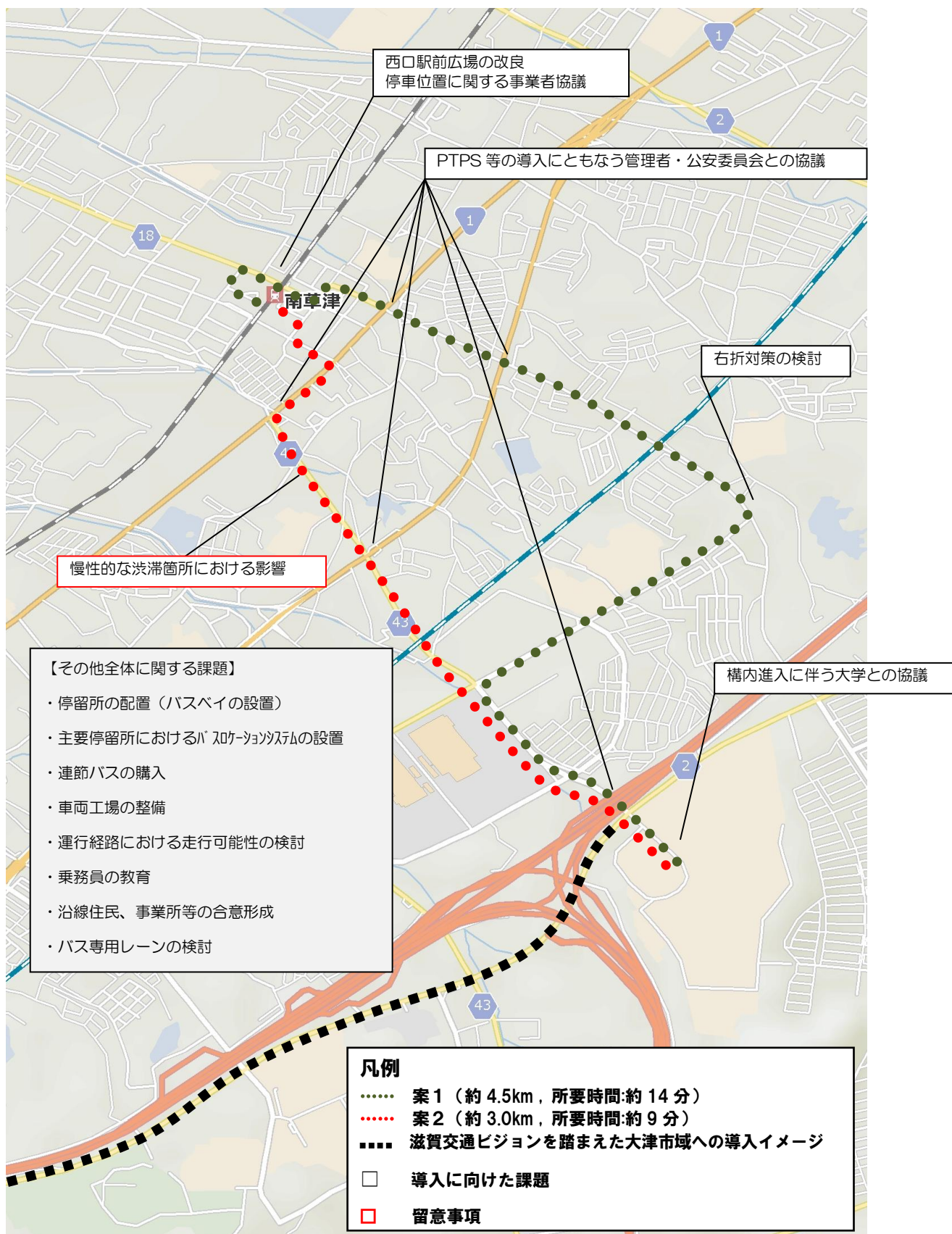


【乗車口が2か所、降車口が1か所あり、扉も大きい仕様】



【床全面が平坦なバリアフリー対応。スロープで乗降が可能な仕様】 出典：岐阜市HP

写真 岐阜市が導入している連節バスの側面(上段)・車内(下段左)と乗降口(下段右)



※ 所要時間は表定速度 20km/時で算出

図 BRT の導入ルート案と課題

(2) 交差点改良

★ 幅員構成、信号現示、レーン長の見直し							
内容	慢性的な道路渋滞が、公共交通の定時性に影響を及ぼしている交差点については、PTPS等の導入とあわせて幅員構成、レーン長、信号現示の見直しを行う。						
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者 その他
	○				○	○	○
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等						
対象	・ ボトルネックとなる交差点（例：野路町交差点、野路南交差点、南田山交差点）						
留意事項	【問題点】 ・ PTPS等の導入により、自動車にとって不利な信号現示になる可能性があること ⇒ 道路混雑が悪化する可能性がある ・ 幅員構成や信号システム等の変更に費用が発生すること 【課題】 ・ 交通全般への影響に配慮した幅員構成、レーン長、信号現示を構築すること						
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）		
	[点状パターン]				[格子パターン] ⇒		
	[点状パターン] 検討・準備		[格子パターン] 導入目標		[黒塗り] 実施・継続		



図 南草津駅周辺地域における道路整備の概要

(3) 歩行環境の改善

★ 歩行空間の整備								
内 容	安全・安心かつ快適な歩行環境を確保するため、連続性に配慮した歩行空間の整備を行う。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○				○	○	○	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 南草津駅周辺の道路（交通量や利用特性、既存の整備率等を考慮して順次拡大）							
留意事項	【課 題】 ・ 道路空間の適切な使い方を決定すること ・ 整備の優先順位を決定すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
	[点状パターン]				[格子パターン] ⇒			
	[点状パターン] 検討・準備		[格子パターン] 導入目標		[灰色パターン] 実施・継続			



出典：交通安全白書

写真 歩道整備のイメージ

(4) 自転車利用環境の整備

★ 自転車走行空間の整備								
内 容	自転車利用者と歩行者や自動車との事故を避けるため、既存の道路空間を活かしながら、連続性のある自転車走行空間の確保を図る。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○				○	○	○	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 等							
対 象	・ 南草津駅周辺の道路（交通量や利用特性等を考慮して順次拡大）							
留意事項	【問題点】 ・ 自動車や歩行者の空間が狭くなること 【課 題】 ・ 道路空間の適切な使い方を決定すること ・ 整備の優先順位を決定すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32）,（⇒：以降継続）			
	[点状パターン]				[格子パターン] ⇒			
	[点状パターン] 検討・準備				[格子パターン] 導入目標			
					[黒色塗り] 実施・継続			



図 南草津駅周辺地域における歩行者・自転車環境整備の概要




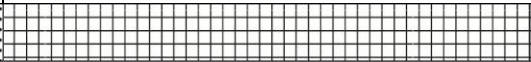

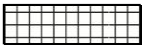

★ 放置自転車の撤去								
内 容	秩序ある自転車利用を図るため、放置自転車の取締りを強化し、快適な駅周辺環境を実現する。							
関係者	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○						○	
○：主体 △：支援	【市の役割】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 ・ 市民や企業・事業所等との連携強化 等 							
対 象	・ 南草津駅周辺							
留意事項	【課 題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の撤去・保管・処分費用を確保すること 							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
					⇒			
		検討・準備			導入目標			実施・継続



写真 歩道上の違法駐輪【南草津駅東口周辺】

(5) 鉄道駅における乗継利便性の強化

★ 公共交通案内情報の充実								
内容	鉄道駅では、多様な目的の人々が様々な交通機関を利用するため、電車やバスの発車時間や乗り場案内などの各種情報を、わかりやすく案内表示し、利用者の利便性向上、公共交通の利用促進を図る。また、公共交通の情報だけでなく、周辺自治体の行政情報や観光情報等の各種情報を発信し、乗り継ぎまでの時間で買い物や食事等で楽しんでいただくなど、まちの活性化につなげる。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者 その他	
	○	○	△		△	△		
留意事項	【市の役割】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 							
対象	・ 南草津駅構内 及び 周辺							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
								
	 検討・準備		 導入目標		 実施・継続			



(路線図から検索)



(自治体情報)

写真 デジタルサイネージ(電子看板)を活用した公共交通案内情報システム

★ 駅前ロータリーに流入する自家用車（キス&ライド車両）の規制・誘導検討								
内 容	秩序ある駅前ロータリーを確保するため、自家用車（キス&ライド*車両）の流入を段階的に規制し、適切な場所へ誘導する方法について検討する。							
関係者 ○：主体 △：支援	草津市	交通事業者	企業・事業所	市民	国	滋賀県	交通管理者	その他
	○					△	○	
	【市の役割】 ・ 関係者との調整 ・ 事業の進捗確認・推進 ・ 規制を設ける上での手続き等の対応 ・ 市民や企業・事業所等との連携強化 等							
対 象	・ 南草津駅構内 及び 周辺							
留意事項	【問題点】 ・ 周辺道路にキス&ライド車両が発生する可能性があること 【課 題】 ・ 適切な待機スペースを確保すること							
スケジュール	前期（～H28）				後期（～H32），（⇒：以降継続）			
	[点状パターン]				[格子パターン]			
	[点状パターン] 検討・準備			[格子パターン] 導入目標		[黒塗り] 実施・継続		



※家族等に自動車ですり送り迎えしてもらい、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用して目的地まで移動すること

図 キス&ライドのイメージ(再掲)